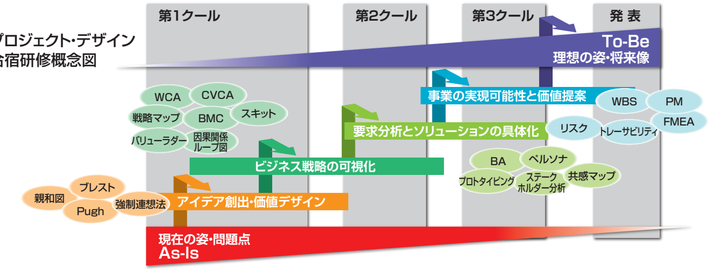
# 熱い8日間の事業創出ワークショップ。 協創 SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

プロジェクト・デザイン合宿研修概念図




世界中を巻き込んだCOVID-19パンデミックは、日本社会やビジネスのあり方を大きく変えました。今まさに、従来とは違った視点からイノベーションを生み出すスキルが重要となっています。

本研修は、複雑な社会の問題に対してイノベーションを創出するプログラムとして、毎年改善を繰り返しながら、本年度15回を迎えることができました。システムXデザイン思考をはじめ、SDM研究科で教育している理論やツールを用いながら、戦略に基づく新規事業プロジェクトのデザインを、上流から具体的な要求分析まで一気通貫したテーマで構成されたSDMならではのカリキュラムです。例年SDGsの目標からテーマをとりあげ、DX化や社会システムの提案などもとりいれながら、これからの日本社会や世界に通用するビジネスモデルを協創しています。

本年度は、「教育」をテーマに、合宿とオンラインをとりまぜた、参加しやすいカリキュラムで開催します。第1クールは、慶應SDMのある日吉協生館での合宿研修です。デザイン思考を中心に、様々な立場での視点を交換し相乗効果の期待ができるグループワーク中心の構成としています。第2・第3クールでは、グループ共同作業ツールを利用したオンライン研修を行い、第4クールである最終日に行う大ホールにての発表を目指して、ビジネスモデルを精緻化していく構成です。研修日程のインターバル期間中も、共同作業ツールの利用や、講師陣とゼミ形式で直接議論できるオフィスアワーの開催により支援します。また、過去の修了者によるメンターとしての参画、SDM学生による操作サポートなどにより、充実した8日間となるようカリキュラムを構成しています。

新しい研究成果やトレンドツールをとりいれたSDM教授陣による講義およびワークショップの他、過去この研修を修了された方に活用実績をご紹介いただくパネル・ディスカッションなど、研修の成果を実際に組織に適用するための構成は例年のとおりです。

普段の業務で出会うことのない異業種のメンバーたちとグループワークを行うアクティブラーニングによって、新たな視点や気づきを得ながら学びを進めます。この研修で出会ったメンバーたちが、修了後も継続して自主的にイノベーションプロジェクトに取り組むほどの良い仲間づくりになっており、研修期間だけでなく、長期にわたる人間関係のネットワーク構築のために本研修をご利用いただいているようです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、開講日以外にも各クール間にグループ課題が出されますので、開催期間全体にわたって本研修に多くの時間を割いていただくことになります。予めご理解のうえご参加ください。会場でのグループワークでは、マスク着用を推奨いたします。感染症に罹患、もしくは疑いがある方は、会場への入室を控えていただくこともあります。また、新型コロナ感染症の再拡大が生じた場合、状況次第では全日程オンラインで開催する可能性もございます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

大塚 有希子　当麻 哲哉

ゼミナーコーディネーター
**大塚 有希子**
Yukiko Otsuka

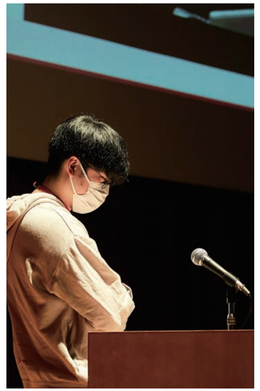
コンサルタント、慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科　非常勤講師、法政大学大学院イノベーションマネジメント研究科准教授。博士（SDM学）、PMP、CBAP、ITCインストラクター、1級FP


経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、優秀アドバイザー表彰など。金融機関人事部門、戦略企画部門を経て、現在はコンサルタントとして、戦略・マネジメントに関する人材開発、制度設計のコンサルティングを行いながら、社会人大学院にて教育・研究指導等。慶應SDM研究所の「ビジネスデザインXプロジェクトマネジメントラボ」代表。PMP®資格受験対策講座も担当。本研修についてセミナーコーディネーターを務める。

監修
**当麻 哲哉**
Tetsuya Toma

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、SDM研究所　マネジメントデザインセンター　代表、博士（システムデザイン・マネジメント学）、PMP


1988年3Mに入社、製品開発スペシャリストとして日米両国で約20年間、新製品をグローバル市場に導入、2008年より大学教員、現在に至る。PMI本部GAC（PM教育プログラム国際認証機関）ディレクター、日本プロジェクトマネジメント協会（PMAJ）理事。2019～2020年にはマサチューセッツ工科大学訪問研究員の経験あり。著書に『グローバルプロジェクトチームのまとめ方:リーダーシップの新たな挑戦』（監訳、慶應義塾大学出版会）がある。



## 第15回「システム×デザイン思考」を実践に生かす プロジェクト・デザイン 合宿研修

第14回 2022合宿研修

### 募集要項

期　日：〈第1クール〉　集合研修 2023年9月12日(火)～14日(木)
〈第2クール〉　オンライン研修　10月　3日(火)～　4日(水)
〈第3クール〉　オンライン研修　10月31日(火)～11月1日(水)
〈第4クール〉　集合研修　　11月24日(金)

会　場：集合研修は慶應義塾大学日吉キャンパス協生館
オンライン研修はZoom、miroなどを活用して行ないます。

募集定員：30名（最少催行人数:16名）

対　象：プロジェクトをイノベーティブに企画・遂行するリーダーを目指す方

受 講 料：440,000円(税込)
＊宿泊費は別途お納めいただきます。(一人部屋、4,400円(税込)/泊)
＊状況により全日オンライン開催とする可能性があります。
開催方針については、8月中旬を目途に参加者にご連絡します。

申込方法：WEBサイトよりお申込ください。
http://www.sdm.keio.ac.jp/2023/06/01-100000.html

各クール間にグループ課題もございます。

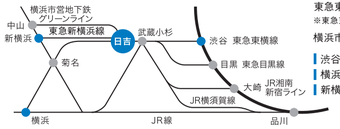
全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。ご希望の方には最大67PDU(Education:Business acumen24/Waysof working33/Power Skills10)の受講証明、最大16ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、カテゴリー2Bで最大34CDU自己申請することができます。

**協生館宿泊施設**　第1クールは合宿形式セミナーのため、9月12日(火)、13日(水)は原則として全員、協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただきます。ご希望の方は前後泊も可能です。
また、第4クール11月24日(金)の前日は、翌日の最終発表の準備のためご宿泊いただけます。後泊も可能です。

### システムデザイン・マネジメント研究所（SDM研究所）とは?

SDM研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として2008年に開設された研究科附属の研究所です。
公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地域の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。

●交通アクセス




東急東横線、東急目黒線、東急新横浜線
※東急東横線の特急は日吉駅に停まりません。
横浜市営地下鉄グリーンライン
渋谷～日吉：急行18分（通勤特急16分）
横浜～日吉：急行12分（通勤特急10分）
新横浜～日吉：7分

日吉駅直結

●お問合せ先


慶應義塾大学
日吉学生部　SDM担当

〒223-8526　横浜市港北区日吉4-1-1　協生館2F
Tel:045-564-2518　Email:sdm@info.keio.ac.jp

http://www.sdm.keio.ac.jp/


第15回 2023

# SDM
System Design and Management

## プロジェクト・デザイン 合宿研修

「システム×デザイン思考」を実践に生かす

2023
9.12(火)→9.14(木)
10. 3(火)・10. 4(水)
10.31(火)・11. 1(水)
11.24(金)　計8日間

# 生き残る 協創 戦略

【後援団体】

一般社団法人 PMI日本支部

特定非営利活動法人
日本プロジェクトマネジメント協会

一般社団法人 IIBA日本支部

特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会

一般財団法人
エンジニアリング協会

【主 催】

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター

# 合宿研修スケジュール

※オフィス・アワーは質疑応答や情報共有の場(任意参加)です

※内容は変更される場合があります

## 第1クール　集合研修（合宿）

| | 1日目 9/12(火) ―チーム・ビルディング― | 2日目 9/13(水) ―問いをたて価値を考える― | 3日目 9/14(木) ―ビジネスをデザインする― |
|---|---|---|---|
| 8:30-9:00 | | オフィス・アワー | オフィス・アワー |
| 9:00 – 10:30 | 開講式・事務連絡 10:00-10:30 | 「問いを考える」長谷川 | 「ミッションを考える」濱 |
| | 休憩 | 休憩 | 休憩 |
| 10:45 – 12:15 | 「プロジェクト・デザインとは」当麻<br>「ウェルビーイング経営」前野 | 「問いを再定義する」長谷川 | 「ビジネスモデルをデザインする」濱 |
| (60分) | 昼食(弁当) | 昼食(各自) | 昼食(各自) |
| 13:15 – 14:45 | 研修イントロダクション「研修概要および演習テーマ」大塚 | 「アイデアを創出する」長谷川 | 「ビジネスモデルをデザインする」濱 |
| | 休憩 | 休憩 | 休憩 |
| 15:00 – 16:30 | 「本質思考とは」米澤 | 「インサイトを軸にピボットする」長谷川 | 「ビジネスモデルの構造を考える」濱 |
| | 休憩 | 休憩 | 休憩 |
| 16:45 – 18:15 | 「本質思考で研修テーマを深掘りする」米澤 | 「価値を考える」長谷川 | 「ビジネスモデルの構造を考える」濱 |
| (75分) | 夕食(各自) | 夕食(各自) | 夕食(懇親会) |
| 19:30 – 21:00 | 「チームビルディング」大塚 | 「価値連鎖を考える」長谷川 | |
| | 宿泊 | 宿泊 | |

行事等
集合研修
オンライン研修

インターバル課題　ビジネスモデルの可視化

## 第2クール　オンライン研修

| | 4日目 10/3(火) ―ビジネスを具体化する― | 5日目 10/4(水) ―ビジネスを具体化する― |
|---|---|---|
| 8:30-9:00 | オフィス・アワー | オフィス・アワー |
| 9:00 – 10:30 | 「課題発表」 | 「ビジネスアナリシスと要求分析」大塚 |
| | 休憩 | 休憩 |
| 10:45 – 12:15 | 「課題発表」 | 「機能要求(顧客視点で考える)」大塚 |
| (60分) | 昼食(各自) | 昼食(各自) |
| 13:15 – 14:45 | 「巨大なインサイト」オーナーの視点・専門家メソッドの視点・長谷川、濱 | 「機能要求(設計視点で考える)」大塚 |
| | 休憩 | 休憩 |
| 15:00 – 16:30 | 「ポートフォリオマネジメント」と「リスク・マネジメント」大塚 | 「システムズ・エンジニアリング」西村 |
| | 休憩 | 休憩 |
| 16:45 – 18:15 | パネル・ディスカッション「SDMメソッドの適用」 | 「フィールドワーク」当麻 |
| (75分) | 夕食(各自) | 夕食(各自) |
| 19:30 – 21:00 | パネル・ディスカッション「SDMメソッドの適用」 | グループ・ワーク |

インターバル課題　フィールドワークとデータ分析
〈インターバル期間中に講師によるフォロー(各グループ1回30～60分程度)のセッションを予定〉

## 第3クール　オンライン研修

| | 6日目 10/31(火) ―ビジネスをプロジェクトとしてデザインする― | 7日目 11/1(水) ―ビジネスをプロジェクトとしてデザインする― |
|---|---|---|
| 8:30-9:00 | オフィス・アワー | オフィス・アワー |
| 9:00 – 10:30 | 中間発表「調査分析報告」 | 「ビジネスの収益性を考える」都丸 |
| | 休憩 | 休憩 |
| 10:45 – 12:15 | 中間発表「調査分析報告」 | 「ビジネスの収益性を考える」都丸 |
| (60分) | 昼食(各自) | 昼食(各自) |
| 13:15 – 14:45 | 発表評価 | 「さまざまな標準知識体系とSDM」大塚 |
| | 休憩 | 休憩 |
| 15:00 – 16:30 | 「プロジェクト・デザイン」当麻 | 「本質思考で最終発表の本質を考える」米澤 |
| | 休憩 | 休憩 |
| 16:45 – 18:15 | 「プロジェクト・デザイン」当麻 | 「プレゼンの極意」長谷川 |
| (75分) | 夕食(各自) | 夕食(各自) |
| 19:30 – 21:00 | グループ・ワーク | 最終発表へ向けた準備 |

インターバル課題　最終発表準備
11月23日(木祝)：プレゼンテーション準備(任意参加、宿泊可)

## 第4クール　集合研修

| | 8日目 11/24(金) ―最終プレゼンテーション― |
|---|---|
| 8:30-9:00 | オフィス・アワー |
| 9:00 – 10:30 | 9:00～9:30 リハーサル<br>9:30～10:30「システム×デザイン思考とは」白坂 |
| | 休憩 |
| 10:45 – 12:15 | 最終プレゼンテーション |
| (60分) | 昼食(各自) |
| 13:15 – 14:45 | 最終プレゼンテーション |
| | 休憩 |
| 15:00 – 16:30 | 研修振り返り |
| | 休憩 |
| 16:45 – 18:15 | 修講式 |
| (75分) | |
| 19:30 – 21:00 | |

## 講師プロフィール

**西村 秀和 Hidekazu Nishimura**

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長 教授 工学博士

モデルベースシステムズエンジニアリング、システム安全、デジタルトランスフォーメーションなどの教育・研究に従事。現在、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科委員長／教授、一般社団法人JCOSE 代表理事、日本機械学会フェロー、JST特任フェロー。著書:システムズエンジニアリングハンドブック第4版(監訳)、システムズモデリング言語 SysML(監訳)、MATLABによる制御系設計(共著)など。

**米澤 創一 Soichi Yonezawa**

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授 プロジェクトマネジメント/人材育成コンサルタント、プロフェショナルメンター、投資家

元アクセンチュア株式会社マネージングディレクター。約27年のアクセンチュアのキャリアでは、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPプラットフォーム統括、教育責任者、品質管理責任者、などを歴任。2008年の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科設立時から教鞭をとっている。専門分野はプロジェクトマネジメント、本質思考・本質把握力、人材育成、組織運営、リーダーシップなど。著書「プロジェクトマネジメント的生活のススメ」(日経BP)、「本質思考トレーニング」(日本経済新聞出版社)

**白坂 成功 Seiko Shirasaka**

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 博士(システムエンジニアリング学)、PMP

三菱電機(株)を経て現職。専門分野は、イノベーション創出にむけた新価値創造方法論であるシステムxデザイン思考や、システムズエンジニアリング。2015～2019年、内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)のプログラムマネージャーとしてSAR衛星を開発。現在は情報処理振興機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター有識者会議座長、(一社)スマートシティ・インスティテュート エグゼクティブアドバイザー、内閣府宇宙政策委員、経済産業省グリーンイノベーションプロジェクト部会WG3座長などを兼任。

**長谷川 廣明 Hiroaki Hasegawa**

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教
リコージャパン(株)人財本部 シニアスペシャリスト

慶應SDM研究科システムエンジニアリング学を履修後、人材育成と事業創発を同時に行うメソッドを研究・開発している。現在は、コア科目であるデザインプロジェクト、SDM序論の特任助教として従事。また、株式会社リコーの基幹システム要求開発を長年担当し、SDM学を活用した事業開発型の人材育成プログラムを展開。リコージャパン株式会社では人財開発戦略を担当。

**濱 久人 Hisato Hama**

株式会社彩成コンサルティング代表取締役 PMAJ研修委員会委員、東洋大学非常勤講師

建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当、その後パナソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にて、システム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。さらにNTTデータの研修機関である株式会社NTTデータユニバーシティを経て、現在は株式会社彩成コンサルティングを設立。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキルなどの研修を推進中。

**都丸 孝之 Takayuki Tomaru**

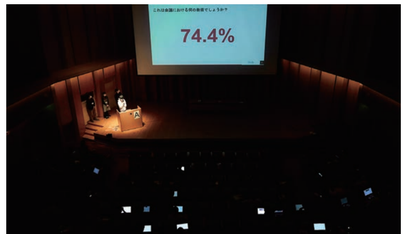
城西国際大学大学院ビジネスデザイン研究科・メディア学部　教授
博士(システムエンジニアリング学)

富士ゼロックス株式会社を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、大学や企業にて地域創生をテーマにしたPBL(Project Based Learning)および顧客価値分析手法を用いた事業創出プログラムを展開。企業の人材育成プログラム、管理職研修、ビジネスゲーム研修、企業・自治体向け講演など多数。慶應義塾大学大学院経営管理研究科 非常勤講師も兼任。著書「働きながらでも博士号はとれる(研究社、2014)」など。

**前野 隆司 Takashi Maeno**

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授　兼
慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチ センター長　博士(工学)

キヤノン株式会社、カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員、ハーバード大学訪問教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て現職。著書:「ディストピア禍の新・幸福論」(プレジデント社、2022)「ウェルビーイング」(日経文庫、2022)、「幸せな職場の経営学」(小学館、2019)、「幸福学×経営学」(内外出版社、2018)、「幸せのメカニズム」(講談社、2013)、「思考脳力のつくり方」(角川新書、2010)、「脳はなぜ「心」を作ったのか」(ちくま文庫、2010)など多数。




## 受講者のコメント

**神藤 善行**
神田通信機株式会社
(第12回参加者)

多岐にわたる業種の方と同じ目的に対し、多様な意見を出し合って進めていく発想の幅の広さに刺激をうけました。オンライン開催という観点でのツールの活用も非常に勉強になりました。チームで最終日に夜遅くまで成果物を練り上げ、全員でプレゼンした達成感は忘れられないです。

**豊川 真美**
個人事業主
(第12回参加者)

SDMのエッセンスが学べると先輩から聞き参加しました。インターバル期間も手厚いフォローを受け「システム×デザイン思考」を深く学べる貴重な3ヶ月間でした。異業種の仲間とその後も交流が続いている点も財産です。

**山口 正展**
株式会社JCB
(第13回参加者)

デザイン思考を謳った研修は数多あれど、システム思考を掛け合わせアイデア創出からビジネスモデル策定に至るまでを一貫して学べるのは、本研修が唯一だと思います。多様なメンバーと熱い議論や試行錯誤を重ねて協創していくプロセスは、大変刺激的であり知的興奮に満ちたものでした。

**石田 直之**
朝日放送グループホールディングス株式会社
(第13回参加者)

イノベーション創出のための思考方法を講義で学び、チームメンバーとの連日連夜のグループワークで学んだことを身につけることができたと感じています。寝ても覚めても研修課題のことが頭を離れないほど濃密で刺激的な2か月間でした。

**安藤真衣子**
エドモンド・オブティクス・ジャパン株式会社
(第13回参加者)

研修で異なる業種の方々と意見を出し合いながら議論することは非常に新鮮でした。新たな視点や気づきを得られた有意義な8日間は、更に深く学び、体得したいという思いが芽生えた貴重な人生の転換点となりました。

**陳 文傑**
株式会社野村総合研究所
(第14回参加者)

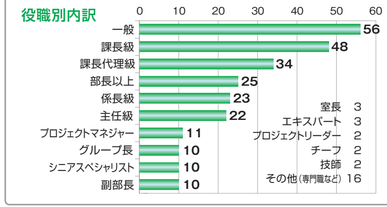
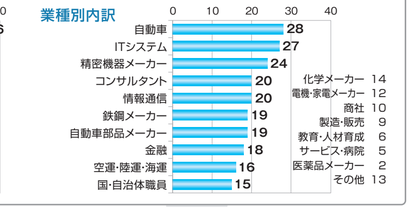
実践を通してイノベーション創出手法を学習するよい機会だった。2ヶ月間の試行錯誤を重ねて世の中の当たり前を疑う習慣を身につけることができた。多様な受講生と本音で議論することで貴重な仲間ができた。

**堀場 大輝**
株式会社エビデント
(第14回参加者)

新たな価値を生み出すスキル・マインドを知識と実践の両面で学べ、さらには学び続けるための交流関係も築ける研修です。価値創出のスキル・マインドの習得には継続的な実践が必要ですが、本研修ならば共に実践する仲間と出会うことができます。

**小松 明子**
株式会社JALエンジニアリング
(第14回参加者)

業種、業界を越えた多様な価値観のもと、チームで議論を重ねて導き出したビジネスモデルの構築は貴重な経験となりました。そして、試行錯誤の中、先生方、フェロー、メンターから頂いた助言は今もチームの財産となっています。

## ■過去の受講者　●総受講者数277名(第5回～第14回)

男性：女性 ＝ 248：29